

仙台陣屋かわら版

第七十九号

(平成二十三年九月号)

HP: <http://www.town.shiraoi.hokkaido.jp/ka/jinya/> Mail: jinya@town.shiraoi.jp
〒059-0911 白老町陣屋町六八一 TEL/FAX 0144-85-2666 仙台藩白老元陣屋資料館発行

夏休み、資料館は大賑わい!! 津軽・仙台・福島の子もたちが来館

学校が夏休みに入った七月・八月は、資料館にたくさんの子もたちが来館してくれました。つがる・仙台・福島から、延べ八十名以上の子もたちが来館。暑い日が続いていますが、北海道程度の暑さなんてヘッチャラなのか、元気がいっぱいでした。

青森県西津軽郡森田村と白老は姉妹都市を結んでおり、二〇〇五年森田村が合併しつがる市となってからもその関係は続いています。毎年この時期になるとつがる市から子どもたちが訪れ、白老の歴史や文化に



〈上: 陣太鼓を叩く仙台キッズ

下: 大筒に興味津々な福島キッズ)



ついて学んでいきます。

このほか、白老町では今年の震災で遊び場のなくなった子どもたちを招待しようという有志による「仙台の子も達に元気を送ろうプロジェクト」が発足、五名の仙台っ子が訪れました。

また夏休みだけでも北海道で伸び伸びと生活してもらおうと企画されたのが、「ふくしまキッズ夏季林間学校」です。総勢約五〇〇名が来道し、そのうち保護者二名を含めた七十名がむかわ町に滞在。九日には二二名の児童が、仙台藩士と白老町のかかわりについて学びました。

夏休みに得た北海道での思い出を胸につがる・仙台・福島の子もたちには、休み明けも元気に過ごしていただければと思います。

ホタル観察会

陣屋の夏の風物詩、「陣屋跡ホタル観察会」を八月五日(金)・六日(土)の二日間に行い実施しました。およそ五十名の方が参加してください。ホタルは十五匹ほどが観察できました。両日とも天候に恵まれなかったせいか、昨年に比べて観察できたホタルは少なかったのですが、その分、一匹一匹に注目して観察することができたのではないのでしょうか。史跡にいるホタルは本州で見かけるゲンジボタルとは違い、小さいヘイケボタルと呼ばれる種類です。体に合わせてか光も控えめとはいえ、暗闇の中で光るホタルの輝きは、どこか幻想的で心を奪われます。小さいながらも懸命に光を瞬かせるホタルを見た参加者からは、感嘆の声が聞こえてきました。

参加してくださったみなさん、お疲れ様でした。毎年「陣屋跡ホタル観察会」を支えてくださり、ありがとうございます。みなさんの期待にこたえるため、きつと来年も、ホタルは私たちの目を楽しませてくれることでしょうか。



〈ちょっとわかりにくいかな…

左が陣屋のホタルで、右がポロトのホタルです)

解説ボランティアを体験

七月三十日(土)、三十一日(日)と四名の児童が、「サマーチャレンジボランティア体験」の一環で資料館に来てくれました。

その名前のとおり、資料館友の会のボランティア解説を

体験することが目的です。子どもたちには陣屋の

おそなえがしら 御備頭 三好 監物

の蝦夷地巡検の場面と、陣屋のシオラマを担当してもらいました。最初は緊張していましたが、実践を重ねるごとに表情が柔らかくなり、お客様から拍手をいただくなど、上手に解説できるようになってきました。

今年も資料館を含む計三十三プログラムで行

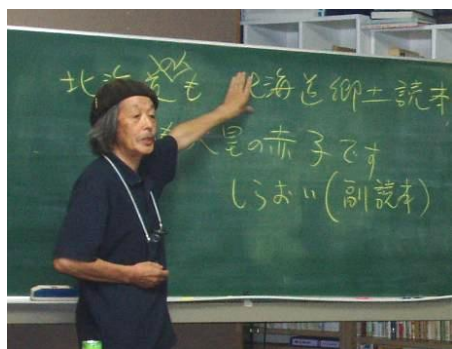


〈みんな、お疲れ様です。展示解説は難しかったかな?〉

なわれたサマーチャレンジボランティア。過去最高の参加者となりましたが、体験を通し多くの人と出会い、また様々なことを得ることができたかと思えます。資料館としても、これらの活動を通し、町全体が活性化していければと考えます。

歴史講座、開講します

元(財)アイヌ民族博物館館長の中村齋氏(ゆうじ)を講師に行なう、「しらいおい歴史講座」を今年も開講します。「先人の歩みから考える『これからの白老』」何が人々の生活を変えたか」をテーマに、連続講座を計四回でお送りします。講座は十五時から十六時半の開催となり、会場はいつでも陣屋資料館です。長い間営まれた先人の暮らしの痕跡に歴史に刻ま



れた人々の苦悩・知恵・希望を探し出し、これらの町づくりのためのヒントを見つけ、「よりよい白老」をつくる道筋を考えるきっかけになればと思います。

各講座の日程とタイトルです

一 九月十七日(土)

「町を変えたできごとと先人の願い(一)」
〜先史時代から江戸期にかけて

二 九月二十四日(土)

「町を変えたできごとと先人の願い(二)」
〜明治期から昭和二十年の敗戦まで

三 十月一日(土)

「町を変えたできごとと先人の願い(三)」
〜昭和二十年から平成の今日まで

四 十月八日(土)

「どんな町にしたいか。そのための準備」
〜子どもたちのために考える『これからの白老』

★ お知らせ ★

先月号で延期をお伝えした「陣屋の日」ですが、今年度は中止とさせていただきます。また来年度のご参加を、心よりお待ちしております。

「仙台陣屋かわら版 第七十九号 平成二十三年九月号」

発行日：平成二十三年八月二十二日(月)

発行所：仙台藩白老元陣屋資料館 担当者：平野・干場